

伊奈学園総合高等学校同窓会

2015 年度第 2 回理事会

日時：2016 年 2 月 14 日（日）13:00～17:00

場所：武蔵浦和コミュニティセンター 第 10 集会室

式 次 第

○開会挨拶

○議長・書記の選出

○出欠確認

○議案審議

- ・ 議案第 1 号 2015 年度事業報告（案）
- ・ 議案第 2 号 2016 年度事業計画（案）
- ・ 議案第 3 号 2016 年度予算計画（案）
- ・ 議案第 4 号 いなほ基金の廃止について
- ・ 議案第 5 号 理事説明会の開催について

○人事案

- ・ 2016 年度役員人事（案）
- ・ 理事名簿（2015 年 12 月 31 日現在）

○閉会挨拶

議案第 1 号 2015 年度事業報告（案）

1 一般活動報告

- 2015 年 6 月 21 日（日） 18:00～21:30 第 1 回四役会
- 2015 年 7 月 12 日（日） 13:00～17:00 第 1 回理事会
- 2015 年 9 月 6 日（日） 13:00～16:00 定期総会
- 2016 年 1 月 10 日（日） 18:00～20:00 第 2 回四役会
- 2016 年 2 月 14 日（日） 13:00～17:00 第 2 回理事会（予定）
- 2016 年 3 月 14 日（月） 15:30～16:00 第 30 期卒業生 同窓会入会式（予定）

2 委員会活動報告

2.1 会報誌編集委員会

2015 年 8 月に inajin37 号を発行した。

伊奈学園創立 30 周年を機に発行回数を年 1 回（夏）とし、配布対象を全正会員として配布をしている。これに伴い、以前のルールに沿って卒業後 11 年目以降の継続送付会費を収めた正会員に対して、公平を期するために、支払った継続送付会費を全額返還する（もしくは同窓会に寄付して頂きたい）旨本誌に記載している。2015 年度は 1 名の返金希望があり、全額を返した。なお、返金を開始した 2012 年度からの累計で 21 名に返金を行い、6 名から寄付の申し出があった。継続送付会費を収めた正会員は 132 名おり、残り 105 名について返金または寄付のどちらを希望するか不明となっている。

ここ数年懸念されていた製作スタッフへの負担は体制改革により大分軽減されており、依然として製作スタッフの不足は否めないものの、安定的な発行が可能となりつつある。また、編集委員会単独でのトップページ人選等の回避を試みて、4 役会、理事会でのチェック機会を増やしたこと、諸事情により会報誌の送付を望まない正会員がいたことに配慮し、送付中止の要望を受け付ける旨を返信用はがきで対応すること、学校渉外部との連携の強化を達成した。

2.2 会員名簿維持管理委員会

2015 年 3 月に卒業し、新たに同窓会の正会員に加わる 29 期生 779 名を会員名簿に追加した。2015 年 12 月末現在の正会員数および 2015 年度の会員名簿の更新状況は別紙 1 のとおり。

2.3 ウェブサイト維持管理委員会

2015 年 12 月現在のウェブサイト更新実績は、別紙 2 のとおり。その他、以下の取り組みを行った。

- ・ウェブサイト構成するシステムの改新
- ・サーバ及びドメインの移行
- ・新ウェブサイト製作 (<http://www.ina-doso.net>)

新しいウェブサイトの製作にあたって、そのデザイン案、追加予算は 2015 年の定期総会にて承認された。

新たに開設されたレンタルサーバー、Xserver は、メーリングリスト・メルマガ機能が充実しており、管理・更新も理解し易く容易なことから、今後幅広く活用して行きたい。

2.4 ホームカミングパーティ実行委員会

2015年10月17日に第19期のホームカミングパーティを開催した。開催状況は別紙3のとおり。

また、20期生が卒業してちょうど10年となる2016年度開催に合わせて「未来へのはがき」の確認作業を行った。

2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

2015年11月19日(木)15時から伊奈学園にて希望者を対象として、卒業生による講演会を開催した。開催状況は別紙4のとおり。

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイトにて講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集した。

2.6 年次活動推進委員会

2015年度の年次理事補助金制度の利用は無かった。

理事が理事会に出席する際の交通費の申請について、WEBに申請フォームを設置し簡便に申請が行えるように整備した。

理事の現況登録フォームを用いて、理事連絡先の整備を行うとともに、らくらく連絡網を使用するのメーリングリストへの登録を進めた。

2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、「いなじんたまり Bar」を2015年7月12日(日)に開催した。開催状況は別紙5のとおり。次回は、2016年2月14日(日)に開催予定。

2.8 会則改正検討委員会

2015年度に検討する課題は無かった。

2.9 同窓会30周年記念事業実行委員会

2016年10月2日(日)の「大人のいなほ祭」開催に向けて、11月6日(金)に第2回実行委員会を開催した。また、会場となる「けんかつ」の開催イメージをつかむため、11月14日(土)に「いきいきフェスティバル」の視察を行った。詳細は別紙6のとおり。

議案第2号 2016年度事業計画(案)

1 一般活動計画

2016年 6月12日(日)	2016年度 第1回四役会
2016年 7月10日(日)	2016年度 第1回理事会
2016年 9月	2016年度 定期総会
2016年10月 2日(日)	同窓会創立30周年記念事業(大人のいなほ祭)
2017年 1月	2016年度 第2回四役会

2017年 2月

2016年度 第2回理事会

2017年 3月

第31期卒業生 同窓会入会式

2 委員会活動計画

2.1 会報誌編集委員会

同窓会活動、OBOG の活躍およびイベントの告知など、情報発信を目的として会報誌を発行する。

2016 年度も引き続き年 1 回（夏）発行し、全正会員に配付することとしたい。（配布対象については、卒業後 11 年目以降の正会員にも継続して配布したい。定期的に会報誌を届けることにより、同窓会活動に興味を持ってもらい、同窓会活動に積極的に参加してもらうよう促すことを目的とする。卒業後 10 年間に限定していた頃に比べて 2012 年度以降、名簿の更新依頼が増えていくことから一定の効果が認められる。）

特に今年度は同窓会 30 周年も控えているので、できる限り多くの人に周知できるように会報誌を活用したいと考えている。

会計報告では、継続送付会費の返還について 105 名の意思が確認できていない。全員への返還（または寄付）が終わるまでは会報誌上にお知らせを記載する予定なので、今年度も掲載予定。

継続的懸念事項としては、年間に約 800 人正会員が増加することから、印刷・送付については年度ごとに検討を続ける必要があると考える。毎年の予算を圧迫し、同窓会内の預金の利用が必要な事態になる場合は、印刷及び全員送付は困難になるものと考えられるので、名簿維持管理委員会及びウェブサイト維持管理委員会と連携し、常に会員数の増減に注意して状況に対応できるようにする。印刷・送付に代わる全員配布方法も継続して模索したい。

収入についても、ページ数を増やして広告スペースを増やし、広告収入を増やすべきだという意見や、広告収入を一切やめてもよいのではという意見など、様々でているので検討していきたいと思う。また、いなほ基金の廃止の検討など、紙面への影響がある懸案もでているので対応するとともに、将来的な制作費や郵送資金を確保するために「Inajin 基金」（仮）などを検討したい。

2016 年度は昨年度より増加する発行部数となる予定であり、コストの上昇が懸念されるのでしっかりと関係各位と交渉し予算内に収まるようにする。[別紙 7](#)参照

2.2 会員名簿維持管理委員会

2017 年 3 月に卒業し、新たに同窓会の正会員に加わる 30 期生約 800 名を会員名簿に追加する。

正会員からの申し出により登録情報の変更を行うとともに、必要に応じてクラス会や部活動等における会合の案内を取り次ぐ。

会員名簿の管理システムが古くなったことから、信頼性向上のためシステムの更新を行う。[別紙 8](#)参照

2.3 ウェブサイト維持管理委員会

同窓会活動報告をウェブサイトに掲載する。その他、以下の取り組みを行う。

- ・新ドメイン取得による、四役・委員会専用メールアドレスの設定・配布
- ・新ドメインによるメーリングリストの見直し
- ・各書類のウェブ活用推進 ※Google スプレッドシート（Google のエクセルに該当）

- ・サイボウズ（無料アカウント）などを活用し、四役内の承認・臨時議事などをウェブ上でやり取りできるよう推進
- ・ウェブサイト維持管理委員会の事業見直し

2.4 ホームカミングパーティ運営委員会

20期が卒業して10年が経過したことから「未来へのハガキ」を返却する。高校卒業後10年ぶりに届く自分自身からのハガキは、高校生当時を思い出すきっかけとなり、その思いをぜひ同窓会活動に生かしてほしいと考えている。

送付に際しては、名簿管理上で住所が有効な人を対象とし、料金別納郵便を利用して切手貼付の手間を省く。また、予算上は定型外郵便料金（120円）を見込んだが、ハガキの表面下半分が空いていることから、ハガキをそのまま返送したい。

ハガキの表面下半分には、改めて同窓会に興味を持ってもらい、Inajinの購読やウェブサイトへのアクセス増加につながることを期待して、同窓会ウェブサイトのURLおよびQRコード、同窓会30周年記念事業の案内、などを印刷する。

2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

伊奈学園を卒業し、社会の中で活躍している方々に在校生とお話をさせていただき後輩たちの進路に役立ててもらうことを目的として、PTAおよび後援会の協力のもとに講演会を実施する。なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイトに講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集する。[別紙9](#)参照

2.6 年次活動推進委員会

議決機関である理事会の充足と各年次間の交流の活性化を促す。

年次活動推進委員会の計画の1つとして運営していた年次理事組織補助金制度の廃止を提案する。この補助金制度は、理事が開催する各年次単位のイベントに対し、参加者が10名以上の場合に1人あたり1,000円、年間最大50,000円までの補助金を支給している。

この補助金制度創設の目的は、

「年次イベント等を企画運営することにより同窓会活動の活性化を目指す。また理事会への参加等同窓会との関わりを持ってもらい、同窓会全体の活動の中心とする。」

としていた。しかし、2011～2015年までの利用実績は以下（参考）のとおりとなっている。

また、この制度の利用を切欠に理事になった方で、その後の理事会に出席している理事は少なく、この状況をもて、本来の第1の目的であった理事を増やす効果が薄いこの補助金制度を、今年度を持って廃止することとする。

（参考）年次活動支援事業費の実績推移

事業年度	利用年次	参加人数	補助金額	事業年度	利用年次	参加人数	補助金額
2011	(打合せ)	-	1,150	2014	4期	15	15,000
2012	11期	94	50,000	2014	19期	101	50,000
2013	24期	19	19,000	2015	-	0	0

2.7 いなじん交流推進委員会

- ・年2回の開催とし、下記の通り開催内容を工夫する。
- ・参加人数を増やし、多世代の交流を活発にさせる。

開催内容の工夫

1. 毎回興味が湧くテーマを設けて、付加価値をつけていく。
2. 委員会のメンバー内で役割分担をして、効率よく入念な準備ができるようにする。
3. 参加者は名簿にして、プロフィールを作成し、話しかけやすい環境をつくる。

2.8 会則改正検討委員会

名簿登録情報の扱い（同窓会名簿登録変更申請「登録情報の扱いについて〈詳細はこちら〉」に掲載）等、これまでの内規の整備を進める。

2.9 同窓会 30 周年記念事業実行委員会

2016年10月2日（日）に「大人のいなほ祭」を開催する。**別紙 10**参照

議案第 3 号 2016 年度予算計画（案）

2015年9月6日（日）の総会で承認された予算について、以下の項目を変更する。**別紙 11**参照

- ・会員名簿維持管理に使用する PC およびソフトウェアが老朽化し、信頼性が低下していることから、システムの更新費用を見込んだ。

2015年度総会承認予算（案）	2016年度総会提案予算（案）
Ⅱ 支出の部	Ⅱ 支出の部
1. 運営費	1. 運営費
備品費 50,000	備品費 260,000

議案第 4 号 いなほ基金の廃止について

「いなほ基金」は伊奈学園の部活動、催事等において同窓生からの金銭的支援にのみ使用することを目的として設立されたが、公立学校に対する寄付行為が禁止されたことから、その目的を達することができない。そこで、同基金を廃止するとともに残高 1,061 円を一般会計に繰り入れることを提案する。

議案第 5 号 理事説明会の開催について

2016年3月に卒業する30期の新入理事に対する同窓会活動の説明会を開催する。**別紙 12**参照

以前より理事会の出席率が伸びず、同窓会の活性化を図る上で問題視されている。理事会に出席してもらうためには、まずは同窓会活動に理解を深めてもらう必要があるため、説明する機会を設けることを提案する。

なお、昨年度まではこのような取り組みを行っていなかったため、2015年度については29期以前の理事も対象とし、先輩理事と新入理事の懇親を図ることも目的とする。

開催日は出席できる人数が多い日とし、2016年3月14日の入会式で勧誘および日程調整を行う。費用は名刺代@1,600×6名=9,600円+飲食代@2,000×20名=40,000円で計5万円程度を見込み、

年次活動支援事業費からの支出を予定している。

(参考) 理事会出席人数の推移 (四役およびオブザーバー参加者を除く)

事業年度	開催日	出席人数	事業年度	開催日	出席人数	事業年度	開催日	出席人数
2012	7/8	9	2013	7/7	7	2014	7/6	7
	3/16	6		3/9	2		2/15	11
2015	7/12	8						

伊奈学園同窓会 2016 年度役員人事（案）

（★印以外は 2015 年通常総会にて承認済み）

役 職	氏 名	年次等	担 当
会 長	いしかわ たけし 石川 剛	8 期	
副 会 長	たなか けんいち 田中 健一	4 期	名簿維持管理委員会
副 会 長	はたけやま あつし 畠山 篤士	6 期	いなじん交流推進委員会
専門委員長	★ ふなさき たみこ 船崎 多美子	2 期	年次活動推進委員会
専門委員長	じょうぐち あつひろ 城口 敦弘	4 期	会則改正検討委員会
専門委員長	むらまつ たけし 村松 猛	4 期	同窓会 30 周年記念事業実行委員会
専門委員長	かとう あゆむ 加藤 歩	10 期	ウェブサイト維持管理委員会
専門委員長	はやさか たくのり 早坂 拓紀	13 期	会報誌編集委員会
専門委員長	こむらかた けん 小村方 健	19 期	ホームカミングパーティ実行委員会
専門委員長	はまの たくや 濱野 拓也	24 期	先輩と夢を語ろう実行委員会
理 事	(別紙参照)		
監 事	きくち のりお 菊池 則夫	1 期	
監 事	ごとう まさひろ 後藤 昌弘	1 期	
会 計	もりした りょうすけ 森下 凌介	24 期	
顧 問	あだち てつや 足立 哲也	現学校長	
顧 問	はら まさゆき 原 雅之	1 期	
顧 問	かねこ けいいち 金子 桂一	3 期	

伊奈学園同窓会理事名簿						
年次	1	2	3	4	5	6
1期	青木 かおり	針谷 信二	長野 啓江			
2期	大崎 哲司	中根 一幸	川窪 葉子			
3期	武井 洋人	氏家 健司	小室 雅成	駒井 香子		
4期	藤 裕之	永井 愛				
5期	岡部 忠亮	北野 真				
6期	菊池 孝一					
7期	乾 理	渡辺 敏光	大塚 一慶	箱田 卓也		
8期	菅原 文仁					
9期	岩崎 一彦	高橋 彰宏				
10期	矢部 雅志	野川 太樹	石松 恒			
11期	鹿野 智孔	新井 兼	佐藤 千恵美	越智 浩一		
12期						
13期	伊藤 靖剛					
14期	佐野 大輔					
15期	前島 沙織	眞藤 泰生				
16期						
17期	石川 佳央里					
18期	開 真紀					
19期	小林 香	鈴木 信博				
20期						
21期	奥山 宏美	野本 麻恵				
22期	坂井 望					
23期	山田 篤寛					
24期	山田 暢史	濱田 祐輔	八幡 佑里	藤間 朱美	森下 凌介	
25期	菅原 美咲	佐野 慎哉	薄木 翔子			
26期	小谷野 愛巳	北澤 拓夢	二村 亜里沙	齊藤 淳	田中 喬祐	
27期	森 亮樹	郷田 光希	濱野 ひと美			
28期	関口 真史	中久保 まり子	梅村 勇斗			
29期	大久保 将利	大山口 梨乃	大鷲 芹菜	野口 真也	藤原 環	井野 志保